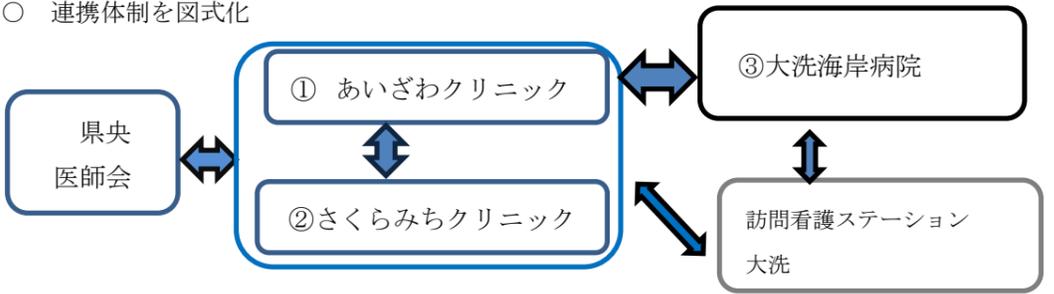


※本票（別添 1 - 2）は公表資料として活用する。（取組状況に応じて随時、修正するものとする）。

令和 4 年度茨城県医療提供施設等グループ化推進事業計画（報告）書

※これから在宅医療への参入又は拡充に取り組む医療機関等の連携強化を支援する取り組みについて記載するものとする。
 なお、必要に応じ、後方支援病院や在宅医療専門診療所（機能強化型在宅療養支援診療所を含む）などの支援（補完）を得て、在宅医療を提供する切れ目のない診療体制の仕組みづくりに取り組むものである。

【地域で支え合う医療機関等の連携体制を構築するために必要な 3 つの取組】

取組事項	取組内容	現 状 (補助金交付申請の前月から過去 6 箇月間の状況)	計 画 (補助金交付申請の月から翌年 3 月末までの取組)	実 績 (補助金交付申請の月から翌年 3 月末までの取組)
<p>1 グループ化した医療機関等を支える取組 ※グループ内の取組に関すること。</p>	<p>1. 事務局、調整機能を担う方：県央市医師会 事務局において、①②③の医療機関における窓口担当者（事務等）と連携により、事業の推進を担う。 2. 打ち合わせ等の内容・開催方法・回数・参加機関等： ・通常において多機関の連携に関わることは随時行われており、また、本事業以外に、町の在宅医療・介護連携推進事業も併せて、町内における在宅医療に関する取組は行われており、今年度において主にその事業では、住民参加型の在宅医療普及の事業を推進している。 ・グループ化推進事業として進めるものとして、令和 3 年度に組織化されたグループ化の医療機関ならびに、グループ化を基に発足した大洗町在宅医療・終末期医療に関する相談体制検討会委員を中心に活動を実施する予定である。 3. 体制作りのための取組内容等： ・大洗町在宅医療・終末期医療に関する相談体制検討会のメンバーに加え、町内の医療機関、介護サービスとの連携強化を図るための検討会を開催し、在宅医療、地域ケアに関わる連携課題について意見交換を行う検討会を WEB・対面式で行う。（1 回） なお、体制作りには、大洗町高齢福祉課との連携を図り、取り組む。</p>	<p>○ 連携体制を図式化</p> 	<p>0 回</p> <p>1 回 : 2022 年 12 月中旬 (予定) 2023 年 1 月 (予備日)</p>	<p>1 回 2023 年 1 月 31 日</p>
<p>2 患者・家族を中心とした在宅医療を推進するための取組 ※地域との連携に関すること。</p>	<p>1. 事務局、調整機能を担う方：大洗町在宅医療・終末期医療に関する相談体制検討会委員 2. 打ち合わせ等の内容・開催方法・回数・参加機関等： ACP 等在宅医療に必要な考え方を共有する研修会の開催（1 回） 3. グループ内の取組課題を地域に提案、地域で解決に向けた取組等： 医療、介護従事者を交えた多職種連携研修会の開催（1 回） 2. 3. については合同開催として企画する。</p>	<p>0 回</p>	<p>1 回 : 2023 年 3 月頃</p>	<p>1 回 2023 年 3 月 22 日</p>
<p>3 在宅医療についての普及啓発活動等の取組を行う取組</p>	<p>1. 大洗町の、在宅医療介護・連携推進事業における市民への普及啓発の広報や協力をを行い、啓蒙活動を協働で推進する。 2. 令和 3 年度の本事業にて作成、配布したパンフレットについて、その活用状況や評価を確認し、広報における必要な情報を収集し、上記検討会において検証する。 3. 看取り期における ACP への理解促進のためのパンフレットを各医療機関、介護サービス用に備え置く。パンフレットは配布だけでなく、その活用については、上記検討会の折に具体的な活用方法を決め、さらに研修会の際に案内を行う。</p>	<p>随時</p> <p>0 回</p> <p>0 回</p>	<p>随時</p> <p>1 回（検討会において）</p> <p>1 回（研修会において）</p>	<p>2023 年 2 月 27 日</p> <p>パンフレット購入し上記研修会にて活用</p>

※「参入促進・連携（グループ化）の取組効果」の公表の取扱いについて、1から2の事項については個々の医療機関の情報は公表せず、連携する医療機関内の合計数を公表する。また、3の事項（死亡患者数）については公表の対象とせず、医療機関からの報告のみとする。

【参入促進・連携（グループ化）の取組効果】

1 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数（※実人数を記載）

	医療機関名 ※医療機関ごとに記載	現 状	計 画	実 績
		(補助金交付申請の前月から過去6箇月間の状況)	(補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)	(補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて診療 (往診、訪問診療)する 合計診療患者数 (※実人数を記載)	・あいざわクリニック	2名	5名	4名
	・さくらみちクリニック	10名	10名	8名
	・	名	名	名
	連携する医療機関内の合計	12名	12名	12名

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計診療患者数（※実人数を記載）を記載。

※「在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）」とは、自宅へ赴くものとする。施設、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等は含まない。

2 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計回数

	医療機関名 ※医療機関ごとに記載	現 状	計 画	実 績
		(補助金交付申請の前月から過去6箇月間の状況)	(補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)	(補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて 診療（往診、訪 問診療）する合 計回数	・あいざわクリニック	合計回数: 2回(うち往診: 2回、訪問診療: 0回)	合計回数: 10回(うち往診: 10回、訪問診療: 0回)	合計回数: 19回(うち往診: 19回、訪問診療: 0回)
	・さくらみちクリニック	合計回数: 110回(うち往診: 13回、訪問診療: 97回)	合計回数: 110回(うち往診: 13回、訪問診療: 97回)	合計回数: 72回(うち往診: 11回、訪問診療: 61回)
	・	合計回数: 回(うち往診: 回、訪問診療: 回)	合計回数: 回(うち往診: 回、訪問診療: 回)	合計回数: 回(うち往診: 回、訪問診療: 回)
	連携する医療機関内の合計	合計回数: 112回(うち往診: 15回、訪問診療: 97回)	合計回数: 120回(うち往診: 23回、訪問診療: 97回)	合計回数: 91回(うち往診: 29回、訪問診療: 61回)

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計回数を記載。

※「在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）」とは、自宅へ赴くものとする。施設、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等は含まない。

3 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数に占める死亡患者数（うち医療機関以外での死亡患者数）

	医療機関名 ※医療機関ごとに記載	現 状	実 績
		(補助金交付申請の前月から過去6箇月間の状況)	(補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて 診療（往診、訪 問診療）する合 計診療患者数 に占める死亡 患者数	・あいざわクリニック	死亡患者数: 2名(うち医療機関以外: 2名)	死亡患者数: 4名(うち医療機関以外: 4名)
	・さくらみちクリニック	死亡患者数: 3名(うち医療機関以外: 2名)	死亡患者数: 4名(うち医療機関以外: 3名)
	・	死亡患者数: 名(うち医療機関以外: 名)	死亡患者数: 名(うち医療機関以外: 名)
	・	死亡患者数: 名(うち医療機関以外: 名)	死亡患者数: 名(うち医療機関以外: 名)
	連携する医療機関内の合計	死亡患者数: 5名(うち医療機関以外: 4名)	死亡患者数: 8名(うち医療機関以外: 7名)

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計診療患者数に占める死亡患者数（うち医療機関以外での死亡患者数）を記載。

※「在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）」とは、自宅へ赴くものとする。施設、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等は含まない。

4 グループ化した医療機関が後方支援病院等（グループ内外問わず）への在宅医療患者の診療の紹介数、急変時の受入数及び後方支援病院等からの逆紹介数

	現 状 (グループ化前 (R3年度 (A)))	実 績 (グループ化後 (R4年度 (B)))	差 (B) - (A)
紹 介 数	229件	209件	-20件
急変時の受入数	一件	一件	一件
逆 紹 介 数	343件	429件	86件